

## 三田 昔の武庫川・今の武庫川

**武庫川** 全長 65km、流域面積 500km<sup>2</sup> 篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の7市1町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える2級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

**三田** 7世紀後半創立の金心寺(こんしんじ)の門前町。金心寺の「三福田」から「三田」になったという。南北朝時代に赤松氏、戦国時代に荒木氏、山崎氏の支配下になり、江戸時代に入り有馬氏、松平氏を経て、17世紀前半に九鬼氏が廃藩まで240年間統治した。丹波街道沿いの宿場町。

**桑原・欣勝寺** 10世紀末に多田源氏の粗源満仲の開創された寺といわれ、雷除けで有名。寺には大蛇の頭骨が残されているがこれは女の業が大蛇になり裏山の池に住んでいたのを高僧が説得され成仏し頭骨が残ったという。

**くわばらくわばら欣勝寺**(伝承) 雷の子どもがこの寺の井戸に落ち、「助けてくれ」というのを和尚は日頃から雷に迷惑をかけられているので、二度と桑原に雷を落とさないように約束させて帰した。これ以降、「くわばらくわばら欣勝寺」といえば雷は落ちなくなった、という。

**桑原の耕地整理** もともと武庫川沿いの地区は湿地帯であったという。明治40年代初めに桑原地区で耕地整理が行われ美田に変わった。記念碑が欣勝寺前にある。

**桑原・感神社** 素盞鳴命を祀る。京都八坂神社から分霊したと伝えられる。桑原の氏神。

**桑原ときうり**(伝承) 感神社の紋所は八坂神社と同じ木瓜(もっこう)紋。桑原ではきうりを食べると祟りがあるといわれ、食べなくなり、作りもしないという。

**下田中の旧武庫川跡** かつての武庫川は三田盆地を大きく迂回しながら流れていたが、度重なる洪水の被害から守るため、昭和50年代に河道を直線化し堤防も強化した。地形図や航空写真から昔の武庫川の姿が浮かび上がってくる。

**神明寺と神明神社** この下田中地区は古くは伊勢神宮の神領地であったため、神明寺と神明神社がある。

**立石城跡** 神明寺と神明神社の旧河川を挟んだ裏山には荒木村重の時代に、山崎左馬之介の立石城があった。

**本町通り** 商家が並んでいた道、丹波街道でもある。

**三田ほんまち交流館「縁」** 本町通りにある古民家を改造した民設民営の多目的交流スペース。秤屋を営まれる中西氏が町の活性化のために一般に開放されている。

**陶祖内神屋惣兵衛旧宅** 内神屋は米屋で豪商。家業以外に陶器窯元となり三輪山に窯を築き陶工内田忠兵衛とともに衛青磁の研究を始め、京都の名工欽古堂亀祐を招き中国青磁を凌駕する作品を完成させた。

**札場の辻** 丹波街道が通る辻、「三田町道路元標」がある。

**車瀬橋** 三田市で最も古い橋、18世紀末に描かれた「摂津名所図会」に「車瀬の蜚見」があ

第6回武庫川エコハイク

070908 エコグループ・武庫川

る。「車瀬」この辺りで車の両輪のように瀬があったからという。今の橋は昭和59年架橋。

**一乗寺跡** かつて一乗池があった、このあたりはよく切れる「正宗堤」があり、犠牲者多くでてこれを弔うため一乗寺が建立された。今は一乗寺公園となって、一乗寺地藏尊が祀られている。まんねん橋の欄干が残されている。

**お旅所** 三輪明神のお旅所。御輿の神幸するときの仮の奉安所。

**三輪村道路元標** 国道176号線を渡った所に石鳥居があり、その下に旧三輪村の道路元標がある。大正年代に全国に一斉に作られた。

**三輪神社** 14世紀前半の建武のころ松山氏が神社尾裏の山に茶臼山城を築き三輪一帯を治め、大和の三輪神社に倣い三輪神社を創建した。九鬼氏もふかく崇敬した。

**三田市立三輪明神窯史跡園** 三田青磁などの三田焼は18世紀の半ばから三田の地で焼かれ始め、この神明窯では江戸時代後期から昭和10年ごろまで焼かれていた。1号窯は県指定文化財。

**宮水** 三輪明神の宮水は丹波街道に面してある湧き水。大きな水場がある。かつては飲料水として利用されていた。

**行基の足跡** 武庫川の治水の事跡が残されている。福島大池、行基堂、松山堤など。「川除(かわよけ)」の地名はこれから出たものか。

**川除の井戸** 16世紀半ば赤松氏に追われた松山氏がこの井戸に隠れ難を逃れたが、その時井戸の中から黄金の仏像を拾い上げたことから以後松山氏は「福井」せいに改姓したという。

**御殿橋** もともと旧河川にあった御殿橋(おとのぼし)は付け替えられた武庫川に架けられた。もとの御殿橋は九鬼の殿様が川除の豪農福井家に行かれる時だけに使われたという。

**松山堤** 僧行基がこの辺りの治水のため築いた武庫川の堤防、松山氏が治めた松山荘からこの名が残る。今は県道黒石三田線の道路敷きとなっている。

**川除の武庫川改修** 昭和60年代に武庫川改修工事のため、川除地区の武庫川ショーとカット工事が行われた。この間の事情は「記念碑」に詳しい。

**天満神社** 有馬郡の総鎮守、「摂津名所図会」に三田神祠として紹介されている。九鬼家代々の祈祷所となる。

**三田城跡** 有馬高校付近に荒木氏の居城があった。後、山崎氏の城(これは古城)。九鬼家移封の時、二の丸等があった。三田小学校付近に陣屋。

**三田御池** もともと金心寺の泉水。九鬼家の陣屋の隣接し、水軍の訓練をしていたという。

**金心寺跡** 県立有馬高校中心に金心寺大伽藍があったが、荒木村重の乱で焼失し、その後屋敷町に移転、明治2年に現在地に移転した。有馬高校門内に礎石が残る。

**古城浄水場** 三田市の浄水場。県営三田浄水場が完成するまでの主要浄水場。

**三田大橋** 三田市になって作られた道路と橋。大橋の周辺は浄水場の取水堰があり、九鬼水軍が訓練したという。明治初年篠山からの舟運の発着地。

**九鬼家資料館** 三田藩家老職の住宅で現在のものは明治8年建築の擬洋風建築である。県指定文化財。資料館として公開されている。